

産学官フロントライン

広島銀行

産学官金連携の推進に向けた取組のご紹介

株式会社広島銀行 法人営業部 金融サービス室 産学官連携担当

企業のニーズと大学等研究機関のシーズをマッチングさせる産学官連携活動が盛んになってくると同時に、「相談窓口が分かれており、事業化までの一貫したサービスを受けづらい」という課題も顕在化してきました。

この現状を打開するため、広島銀行は、産学官に金融を加えた「産学官金連携」において、地域金融機関として有する幅広いネットワークや、行政との連携に基づく豊富な情報・ノウハウを活用し、企業と各種支援機関・支援制度をコーディネートするとともに、本来銀行が備える必要な資金の仲介機能を発揮することにより、最適な課題解決を提案できるワンストップ窓口となるべく活動を展開しておりますので、以下にご紹介をさせていただきます。

1. 法人営業部「産学官連携担当ライン」の設置

法人営業部内に設置された担当ラインが「産」と「学」、「官」の架け橋の機能を担います。

企業からの相談に素早く適切に対応できるよう、県内の8大学および1研究機関と包括連携協定を締結し、日頃から大学や支援機関と密接な情報交換を行うことで、情報とノウハウを蓄積しています。

【包括連携協定締結大学・機関一覧】

※順不同

広島大学、県立広島大学、広島市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、近畿大学工学部、広島県立総合技術研究所

特に、平成21年度からは行員を広島大学に産学官連携コーディネータとして派遣しており、常に最新の研究情報が手に入る体制を構築しています。コーディネータは支店行員に帯同した企業訪問を通じて、技術的課題のヒアリングや広島大学保有特許の活用提案を行い、シーズとニーズのマッチングを推進しています。

また、ここ最近の新しい取組として、ベンチャーキャピタル等と連携しながら、事業化の可能性のある研究シーズを持つ大学研究者に対する、大学発ベンチャー創業の支援も展開しております。

活動実績として、これまでの5年間の活動の中で、24件の共同研究を仲介しました。

【当行が仲介した共同研究の例】

- ・ A 社（自動車部品製造業）
新製品開発に関する強度の検証
- ・ B 社（家具製造業）
学生のアイデアを元にした、新しいデザインの日用品開発
- ・ C 社（食品製造業）
新製品の材料となる食材の効能検証
- ・ D 社（工具製造業）
新素材に対応した工具の開発

2. 公務営業部の創設による行政との連携強化

平成24年10月に営業戦略の柱である「行政との連携による地域経済への貢献」を推進するために、自治体に特化した営業部門である公務営業部を創設し、連携強化に取り組んでいます。

「官」との窓口として、自治体との人材交流や行政施策における協働を進め、企業に対して

は「有益な行政情報のスピーディーな発信」、行政に対しては「リアルタイムな企業や地域産業のニーズの提供」を行い、両者の効果的な循環を促進する役割を果たしていきます。

【当行の取組例】

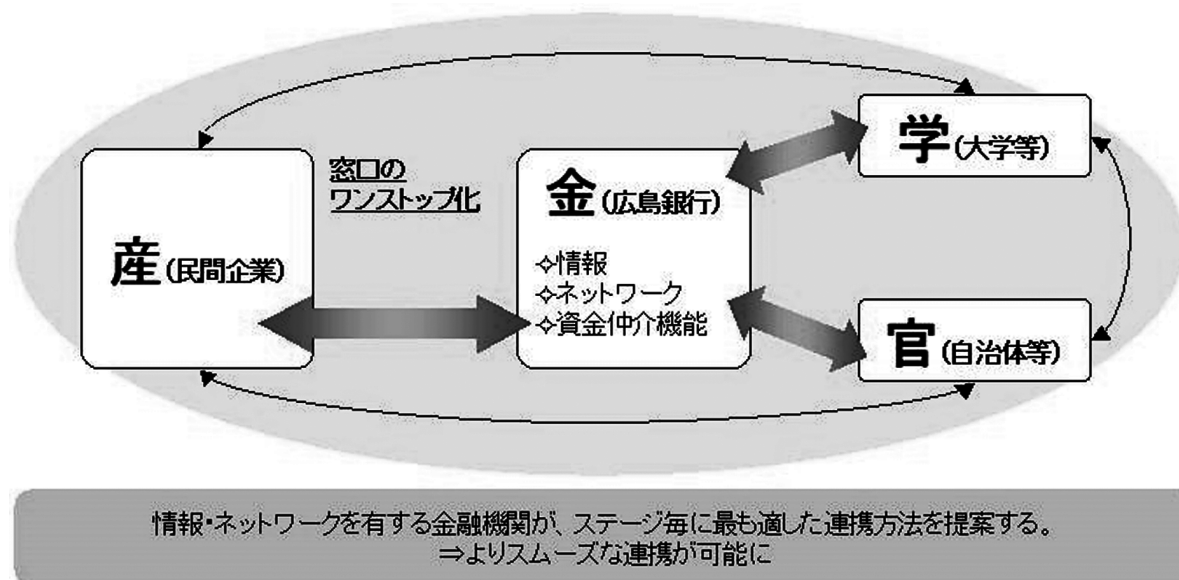
- ・広島県の主要施策に関し議論を行う「広島県経済財政会議」への参画
- ・「瀬戸内しまのわ2014」など行政・地域イベントにおける協力
- ・補助金制度など行政の支援施策に関する情報発信 等

3. 産学官金連携への取組について

上記の法人営業部や公務営業部の活動を通じて、当行が産学官金連携に取り組む背景には、これまでは単なる「点」と「点」の活動になりがちであった「産学官連携」に金融機関が加わる「産学官金連携」となることで、強靱な「線」を生み出したいという狙いがあります。

さらに、個々の企業の事業成長である「線」が繋がることで、「面」即ち地域経済全体の活性化に繋げていくことができるものと期待しています。

【産学官金連携のイメージ】



広島銀行では、これからも「産学官金連携」を積極的に推進し、地域経済の活性化に貢献していきたいと考えております。ご興味をお持ちの方はお気軽にお声掛け下さい。

【お問い合わせ】

広島銀行 最寄の各支店

または

《産学連携担当》 法人営業部

TEL : 082-504-3861

FAX : 082-241-2331

《行政担当》 公務営業部

TEL : 082-504-3860

FAX : 082-240-5759

(〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8)